

幼児教育スタートプランの実現

(前年度当初予算額 4,836 百万円)
令和 4 年度要求・要望額 20,949 百万円 + 事項要求

1. 要 旨

学びや生活の基盤を支える幼児期からの教育の充実を図り、施設類型や地域、家庭の環境を問わず、全ての子供に対して格差なく質の高い学びを保障する「幼児教育スタートプラン」の具体化を強力に推し進める。

2. 内 容

(1) 「幼保小の架け橋プログラム」の開発・推進

◆幼保小の架け橋プログラム事業 195 百万円(新規)

[委託事業者：都道府県、市町村等]

幼保小の接続期の教育の質的向上に向け、全ての子供たちの多様性にも配慮した上で学びや生活の基盤を育む「幼保小の架け橋プログラム」について、モデル地域における検証等を通じた開発・改善を行い、実践への効果的な活用の在り方について調査研究を行う。

◆幼児教育施設の機能を生かした幼児の学び強化事業

57 百万円 (57 百万円)

[委託事業者：都道府県、市町村、大学、幼稚園関係団体等]

幼児教育の更なる質的向上を目指し、家庭等との連携強化や切れ目ない幼児教育の実践、外国人幼児や障害のある幼児等への対応などの課題に対応した指導方法等の充実のため、調査研究や研修プログラムの開発を実施する。

◆幼児教育の理解・発展推進事業

29 百万円 (25 百万円)

幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針に基づく活動を着実に実施するため、中央及び都道府県において幼児教育に関する専門的な研究協議等を行うとともに、その内容を踏まえた具体的な教育課程の編成や指導の在り方等に関する指導資料等を作成する。

◆幼児教育における人材確保・キャリアアップ支援事業 170 百万円 (122 百万円)

[委託事業者：都道府県、市町村、大学、幼稚園関係団体等]

質の高い幼児教育・保育の実践の根幹となる人材の確保及びキャリアアップに必要な取組を総合的かつ効果的に実施し、好事例の横展開を行う。

◆幼児教育のデータの蓄積・活用に向けた調査研究

85 百万円 (新規)

[委託事業者：研究機関等]

「幼児教育スタートプラン」の実効性を高めるため、幼児教育の好事例等を収集して活用するとともに、小学校や家庭とも蓄積したデータを共有し、幼児の成長を保障するためのデータの蓄積、幼児教育施設や小学校・家庭での活用状況等に関する検証を通じて、効果的なシステムの在り方に関する調査研究を行う。

◆ECEC Network 事業の参加

11 百万円 (11 百万円)

OECD において計画されている「OECD 国際幼児教育・保育従事者調査」及び「デジタル世界における幼児教育・保育の在り方に関する調査研究」に参加し、質の高い幼児教育の提供に向けた施策展開のための重要な基礎情報を得る。

※ECEC : Early Childhood Education and Care

(2) 幼児教育の質の向上を支える自治体への支援

◆幼児教育推進体制を活用した地域の幼児教育の質向上強化事業〔補助率 1 / 2〕

420 百万円 (207 百万円)

〔補助事業者：都道府県、市町村〕

公私立幼稚園・保育所・認定こども園に対して一体的に域内全体の幼児教育の質の向上を図るため、幼児教育アドバイザーの配置等により、地域の幼児教育に関する課題に的確に対応する幼児教育推進体制の活用支援を強化する。

(3) 意欲ある施設の幼児教育の質を支える

◆教育支援体制整備事業費交付金〔補助率 1 / 2 等〕

2,900 百万円 + 事項要求 (1,400 百万円)

〔補助事業者：都道府県〕

新型コロナウイルス感染症の影響下においても子供たちを安心・安全に育む環境を確保し、子供たちの学びや生活の基盤を支えるため、幼稚園の ICT 環境整備に係る費用や感染症対策を実施するために必要となる保健衛生用品等の購入経費等を支援する。

◆私立幼稚園施設整備費補助〔補助率 1 / 3 (Is 値 0.3 未満の耐震補強・改築は 1 / 2)〕

1,335 百万円 + 事項要求 (490 百万円)

〔補助事業者：私立幼稚園の設置者〕

緊急の課題となっている耐震化のための園舎、外壁や天井等の非構造部材の耐震対策等に要する経費とともに、預かり保育への対応や感染症予防の観点からの衛生環境の改善、防犯対策、バリアフリー化等に要する経費の一部を補助する。

◆認定こども園施設整備交付金〔補助率 1 / 2〕

15,747 百万円 + 事項要求 (2,524 百万円)

〔補助事業者：都道府県〕

認定こども園等の施設整備、園舎の耐震化、感染症予防の観点からの衛生環境の改善、防犯対策に要する経費の一部を補助する。

幼児教育スタートプランの実現

令和4年度要求・要望額
(前年度予算額)

209億円 + 事項要求
48億円)



学びや生活の基盤を支える幼児期からの教育の充実を図り、施設類型や地域、家庭の環境を問わず、全ての子どもに対して**格差なく質の高い学びを保障する「幼児教育スタートプラン」の具体化**を強力に推し進める。

1 「幼保小の架け橋プログラム」の開発・推進 5.5億円 (2.1億円)

幼保小の接続期の教育の質的向上に向け、**全ての子どもたちの多様性にも配慮した上で学びや生活の基盤を育む「幼保小の架け橋プログラム」について、モデル地域における検証等を通じた開発・改善**を行う。また、**幼児教育人材の確保・資質能力の向上やデータの蓄積・活用**を行い、幼保小の架け橋プログラムの推進の基盤を整備する。

- **幼保小の架け橋プログラム事業** 2.0億円 (新規)
- **幼児教育施設の機能を生かした幼児の学び強化事業** 0.6億円 (0.6億円)
- **幼児教育の理解・発展推進事業** 0.3億円 (0.2億円)
- **幼児教育における人材確保・キャリアアップ支援事業** 1.7億円 (1.2億円)
- **幼児教育のデータの蓄積・活用に向けた調査研究** 0.8億円 (新規) 等



2 幼児教育の質の向上を支える自治体への支援 4.2億円 (2.1億円)

地域全体の幼児教育の質の向上を図るため、**幼児教育アドバイザーの配置**等により、地域の幼児教育に関する課題に的確に対応する自治体の**幼児教育推進体制の活用支援を強化**する。

- **幼児教育推進体制を活用した地域の幼児教育の質向上強化事業** 4.2億円 (2.1億円)

3 意欲ある施設の幼児教育の質を支える 200億円 (44億円)

新型コロナ対策、ICT環境整備、施設整備など、それぞれの園における**日々の教育実践に必要な取組を支援**する。

- **教育支援体制整備事業費交付金** 29億円 (14億円) + 事項要求
- **私立幼稚園施設整備費** 13億円 (5億円) + 事項要求
- **認定こども園施設整備交付金** 157億円 (25億円) + 事項要求